

成長のための3つの気で、自ら学ぶ力を育む

今年度の四中の教育目標は、

『しかけ』を生かした学力向上への挑戦
～自分から学び続ける生徒を目指して～



と掲げ、生徒が主役の学校づくり(自分で考え判断し、責任をもった行動ができる集団づくり)を全ての活動のベースとしてスタートしていきます!

その柱となるのが、学校長が掲げる「成長のための3つの気」——やる気・根気・本気です。

まず、『やる気』とは、目標を掲げて自分の未来を思い描く力です。ただなんとなく勉強するのではなく、「これができるようになりたい」「将来こんな自分でありたい」と思える目標が、行動の原動力になります。昨年度のグランドデザインで浸透した「やれば(成長)できる!」という気持ちをベースに、今年度はより具体的なスモールステップの目標を達成させていく経験を積んでいきます。

次に『根気』は、失敗してもあきらめず、努力を積み重ねる粘り強さです。うまくいかないときこそ、自分を鍛えるチャンス。「努力を続ける覚悟」、「できるようになるまでやり抜く覚悟」こそが、確かな学力と自信につながります。中学校時代に培った「根気」や「覚悟」は社会に出ても、必ず自分を助けてくれる力になります。

そして『本気』は、自分の限界に挑み、全力を出し切る姿勢です。本気で向き合った経験は、学力だけでなく、人としての成長を大きく後押ししてくれます。そして、それが自信に繋がります。自信がもてると、また次のステップへの『やる気』が生まれてきます。

この「3つの気」は、教室や部活動等、学校生活だけで育つものではありません。ご家庭での励ましや共感が、子ども達の背中を大きく押してくれます。学校とご家庭が両輪となって手を取り合い、生徒たちの成長をともに支えていける1年にしていきたいと思います。

今年度もどうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



新たな出会いと共に 新たな一步を踏み出す！

新年度がスタートし、7年生は3つの小学校からの仲間が一つになり、初めての出会いに胸を躍らせながら学校生活を始めました。8・9年生もクラス替えを経て、新たなメンバーとの関係づくりに取り組んでいます。そんな中、全学年で多くの生徒が学級委員に立候補し、「**自分たちのクラスを自分たちでつくっていこう**」という前向きな姿勢が見られました。



各クラスでは、学級委員を中心に「どんな学級にしたいか」「どんな仲間でありたいか」について真剣に話し合い、学級訓を完成させました。その訓には、**互いを思いやる気持ち、挑戦する勇氣、笑顔あふれる毎日への願いなど、それぞれのクラスの思いが力強く込められています。**

完成した学級訓に込めた想いは、発表動画として給食の時間に全校で視聴していきます。他のクラスの想いにふれ、刺激を受ける時間となってくれることを期待しています。どのクラスも素敵なスタートを切ることができました。

これからの成長がとても楽しみです。



静けさの中で育まれる力～自問清掃の取り組み～



本校では今年度から全学年で「自問清掃」に取り組んでいます。掃除の時間になると、校内は驚くほど静かになります。それは、生徒一人ひとりが黙々と、自分の役割やその場に必要のことを考えながら掃除に取り組んでいるからです。

掃除を「やらされる」のではなく、「今、自分にできることは何か」「もっときれいにするために？」と問いながら動くことで、気付きの力が高まります。この“自問”を重ねることは、

自分自身を客観的に見つめるメタ認知の力を育て、結果として学習や生活にも良い影響を与えていきます。



心と空間の両方を整えるこの活動を通じて、生徒たちが掃除に価値を見だし、自らの成長の機会としてとらえてくれることを願っています。

